

平成27年度 日本パラリンピック委員会選手発掘事業
めざせパラリンピック！可能性にチャレンジ 2015

「競技団体並びに都道府県障がい者スポーツ協会はじめ地域の関係団体と連携を図り、パラリンピックをめざす障がい児者に、パラリンピックスポーツを体験する機会を提供することにより、将来のパラリンピック日本代表選手を発掘することを目的とする。」（実施要綱より抜粋）

大阪市長居障がい者スポーツセンターをメイン会場として、ヤンマーフィールド長居と2会場に分かれ行われた。

大阪障がい者スポーツ指導者協議会からも、ボランティアとして約30名が集まりそれぞれの担当する会場で頑張っていた。

パラリンピックスポーツを体験する障がい児者も、50名以上集まりパラリンピックをめざす、良い体験が出来ていた。



2015 大阪市ふれあい水泳大会

【目的】本大会は「障がいのある人が日頃の練習の成果を示す場を提供することにより、意欲と自信を養うとともに、友好と親睦を図り、また健康の維持増進、体力の向上や社会参加の機会とすることを目的とします。」（実施要項より抜粋）

平成27年9月23日(水・祝)、大阪市舞洲障がい者スポーツセンターにおいて、大阪市ふれあい水泳大会が行われた。

日頃の練習の成果を存分に発揮できる大会とあって、毎回320名程の選手が集まる。恒例、人気の大会といえる。

スタッフにおいては、初めてふれあい水泳大会のボランティアを体験する学生や障がい者スポーツ指導者もいた。

選手だけでなく、スタッフも友好と親睦を図ることができればと思う。来年もまた、ふれあい水泳大会が楽しみである。

編集後記

今年度、前半が過ぎた。たくさんの大会があり多くの人と交流することができた。

10月には全国障害者スポーツ大会が、和歌山県で開催される。是非、応援に行ってみてください。

大阪障がい者スポーツ指導者

協議会だより

編集・発行 大阪障がい者スポーツ指導者協議会 広報部 平成27年9月30日 第74号

<http://osaka-adspo.org/>

【報告】大阪障がい者スポーツ指導者協議会 平成26年度年次総会

平成27年4月19日(日) 場所：大阪市長居障がい者スポーツセンター 2階 会議室

◎平成26年度 事業報告について

1 事務局

- ① 理事会の開催：協議会の運営体制やボランティア協力体制の調整を行うため理事会を14回開催した。
- ② 大阪府内の障がい者スポーツ大会・イベントに協力を行った。
- ③ 第14回全国障害者スポーツ大会への参加（参加する選手へのサポート）
- ④ 平成26年度大阪市障がい者スポーツ・レクリエーションひろばへの協力
- ⑤ 各都道府県の障がい者スポーツ指導者協議会の全国会議に出席

2 研修部

- ・研修を開催：平成27年3月14日（土）バリバラ（バリアフリーバラエティ）を通して障がいのある人との関わりを、考える。～共に楽しむために～

3 広報部

- ・広報紙「第72号」「第73号」を発行

4企画部

- ・平成27年1月11日（日）舞洲スポーツセンター「新年のつどい」羽子板コーナーを担当

◎平成27年度 事業計画（案）について

1 事務局

- ・各種ボランティアの要請・各種発送業務について迅速な対応・対処することとしたい。また、協議会の会員が意欲的にボランティア活動やスポーツ指導をして頂けるよう努力したい。

2広報部

- ・協議会だよりに、身近な障がい者スポーツの紹介等を載せ情報を提供する。また、引続きホームページからの情報も提供できるようにする。

3 研修部

- ・障害者スポーツ指導の実践で役立つ内容と、日本障がい者スポーツ協会が定める競技種目を中心にした研修を、年1～2回行いたい。

4企画部

- ・大阪障がい者スポーツ指導者協議会として、障がい者スポーツのイベントや大会が行えるような企画・案を考え実行できるよう努力したい。その一環として平成24年度に行った「スポーツいろいろカーニバル」の継続や、各種障がい者スポーツ施設等とタイアップして行えるような行事を検討する。

平成27年度	役員	会長 松本 晃	副会長・会計 鈴木 光一	事務局長 久保 漣	部員 兼田 理香 新川 豊美	広報部長 松浦 春代	部員 永島 久義	研修部長 中野 薫	部員 福西 拓也 加島 多美子 仲本 清文	企画部長 松田 恭子	部員 相原 繁樹 菅原 智彦 福島 美沙季
--------	----	------------	-----------------	--------------	----------------------	---------------	-------------	--------------	--------------------------------	---------------	--------------------------------

視覚障害に対するスポーツ指導のポイント



講師
国立障害者リハビリテーションセンター
自立支援局就労移行支援理療教育部
学院リハビリテーション体育学科

細川 健一郎 氏



「国立障害者リハビリテーションセンターでは、2つの学校があります。ひとつは、学院リハビリテーション体育学科という所で、障がい者のスポーツと健康づくりのための指導者を育成する専門課程で、専修学校になります。大学を出た後、2年間学習をして社会に出ます。もう1つは、あん摩・マッサージ、鍼灸の国家資格をとるための学校があります。対象は視覚障害者の方々です。」の言葉から始まり、視覚障害に対するスポーツ指導のポイントを丁寧にわかりやすく講演して頂きました。講演内容の一部ですが、掲載いたします。（パワーポイントの使用の許可を頂いています）

全盲者へ指導するための基本事項

Q1. フォームで修正点はありますか？ あるとすれば、どこをどのように直しますか？ また、その理由は何ですか？

打球方向

Q2. 以下のストレッチを言葉で説明しましょう。

Q1. フォームで修正点はありますか？ また、その理由は何ですか？

A. 修正点なし
1) ボールを眺く時間を延ばし、ボールのスピードを相対的に遅くするには、ボールと共に後ろに下がることが必要
2) 身体の中心近くで打球することで、正確に音源を定位する
3) 顔の下で音を聴くことにより、左右の音源定位となり難易度が下がる

音を「聴く」

音の位置を定める(音源定位)場合、3方向の情報が必要

上下(垂直面の定位)
左右(水平面の定位)
前後(距離の定位)

音の方向定位は三角形が基本

ボール音が正中から外れるほど、定位の精度は低下する

複雑な動き説明をするには

- 1) 複雑な動きや長い動きは分割する
分割：動きを分割
身体を分割
＊なるべく早い段階で全体指導に移行
- 2) 大きな動作の習得から細かい動作の習得を意識した説明
- 3) 「聴く」「触れる」「動く」の組み合わせ

音を「聴く」

方向定位の難易度

易 ↓ 難

水平面の定位：「右斜め前から音がする」
垂直面の定位：「2階あたりから音がする」
距離の定位：「3m前から音がする」

方向定位を「易→難」に整理すると

音源	定位者	方向定位の要素
音源が動いている状態	静止	水平面
		垂直面
	動く	距離
		距離
静止	静止	水平面
		垂直面
	動く	距離
		距離

「音を聴いて位置を把握」

- ・視覚に比べ聴覚は非常に反応が鈍く、情報は不正確
- ・音源が動いている状態ではさらに反応が鈍く、不正確になる。速度が上がるほど、また、身体から音が離れるほど、精度は低下する。

両者には120～180倍の精度の差がある

Point1 音源定位

音源定位(音の位置把握)には、左右、上下、前後の3つの軸がある。左右(方向)が最も把握しやすく、前後(距離)が最も難しい

音源定位が十分にできていない人に対して「よく聞いて」は指導にならない。「聴く」つまづきを分析して指導することが必要

言葉での説明～動き～

意識的な使い分けと組み合わせ

「聴く」情報はすぐに消失することに加え、聞く側の理解に大きく差の出る場合があるため、表現方法を変えた繰り返しが必要である。
特に集団指導の場合は重要となる。

Point5 指導の手段ー触れるー

- 1) 模型などに触れる
- 2) 指導者の動きに触れる
- 3) 指導者が対象者に触れる

言葉で伝え難い動き、全体像の把握、速さやリズム、方向の把握には「触れる」「触れさせる」指導が重要

Point2 音を捉える位置

音源定位する場合、身体の中心線から音源が離れると精度は低下する

正確な音源定位には、音の移動に合わせて、身体を移動させることが必要となる
唇間で音を捉える

A. 先ほどのストレッチを言葉で説明すると・・・
実際の神戸視覚障害センターの指導例

上腕三頭筋、上腕背側にある肘関節神経、肘を伸ばす筋肉のストレッチをします
↓
右腕を上げ、バンザイするように右腕をあげます
↓
右肘関節は屈曲、右腕の肘はしっかりと曲げ・・・
↓
右手で後頭部の下、首の後ろあたりを触ります
指を触ることが出来ますか？
↓
右手で首の後ろを触れたまま逆の手、左手で右手の肘を持ち、首の後ろにゆっくりスーッと引きます
↓

Point6 指導の手段ー動くー

- 1) 指導者が対象者に触れ、身体を動かす
- 2) 実際にイメージした動きを対象者が行う

指導者が対象者の身体に触れて動かす指導は初期のみに用い、早期に自らが動く感覚を重視した指導に移行する

ボールゲーム指導の方法

Point7 スモールステップ

段階	対象物(ボール)	対象者1	指導者対象者2
step1	固定	固定	ー
step2	移動	固定	固定
step3		移動	移動
step4		移動	固定
step5			移動

Point3 合理性を考慮した事前の準備

“見る”を情報の基本にした動作と“聞く”を情報の基本とした動作はその合理性において別のものとなることがある

“聞く”ことを考慮した合理的な動作に対する考察、健常者の教科書的な指導をそのまま指導しないことが重要

言葉での説明～動き～まとめ

動きを簡単に分かりやすく説明するポイントは？

動きをイメージできる言葉などに置き換える
動きを表現する言葉にする
比較
オノマトペ
使い分け、組み合わせ(繰り返し)

視覚以外での情報提供

触覚 触れる 押す
聴覚 聴く
筋運動 感覚 動く 動かす
視覚以外

「触れる」「動く」を利用した説明

触れる

- ・視覚障害者が指導者に触れる
- ・指導者が視覚障害者に触れる
- ・視覚障害者が模型・図などに触れる

動く

- ・指導者が視覚障害者に触れ動かす
- ・視覚障害者が自ら動く

Point8 動きの「要素」と「段階」

要素	段階(易→難)
スピード	遅い→速い
移動範囲	狭い→広い
予測	しやすい→にくい(規則的→非規則的)
空間	平面→立体、狭い→広い
確認の方法	直接→間接(近位→遠位)
対象者移動の方向	左右→後→前→組合せ
音源の定位	左右→距離
要素の組み合わせ	少→多

言葉での説明～動き～

- ・動きを直接的に説明(説明のポイント：始動位置、終動位置、軌跡の3点)
- ・対象者が知っている動きに置き換える(比喻)
- ・イメージできる言葉に置き換える(オノマトペ)

Point4 指導の手段ー言葉ー

- 1) 動きを直接的に説明(始動位置から終動位置までとその軌跡)
- 2) 対象者が知っている動きに置き換える(比喻)
- 3) イメージできる言葉に置き換える(比喻やオノマトペ：擬態語やリズム)

言葉の指導は重要、端的にわかりやすくが大切
意識的な使い分けと組み合わせ、そして、繰り返しが必要

Point9 フィードバック

フィードバックは自らの感覚と結果を結び付けるために非常に重要となる

指導者のフィードバックと実施者自らの感覚が一致するよう、段階的にフィードバックする視点を変化させる

IPC 公認 2015 ジャパンパラ 水泳競技大会

平成 27 年 9 月 5 日(土)~9 月 6 日(日)

東京辰巳国際水泳場



受付の準備



選手の受付



選手の招集場所



昨年まで大阪で行われていたジャパンパラ水泳競技大会も、今年は東京での開催となり東京辰巳国際水泳場で行われた。

日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ指導員は、全国から約 30 名が集まり微力ではあるが、大会前日より準備等に関わった。

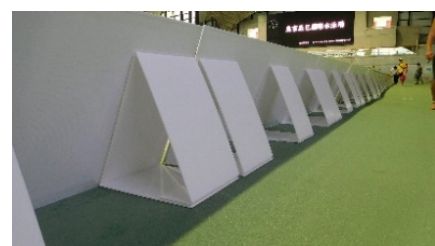
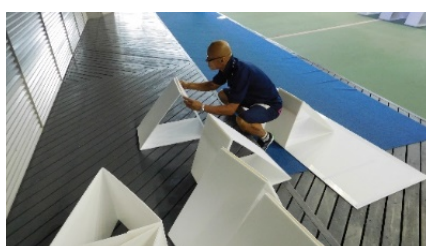
選手の受付、そしてプール会場ではバナーや表彰場所など、試合に向けての細やかな準備が進められた。

大会当日も、入退水、招集員、誘導係、その他の係りなどスタッフの一員として活動することができた。

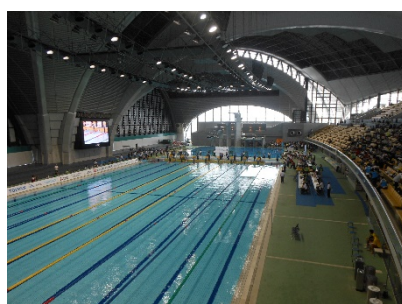
大会においては、アジア新記録(2 個)、日本新記録(33 個)、大会新記録(58 個)が誕生した。

これからも選手たちの活躍が楽しみである。

(広報：松浦)



バナー(オフィシャルパートナー)の組み立て、
今までと違い、マジックテープで簡単に出来上がった



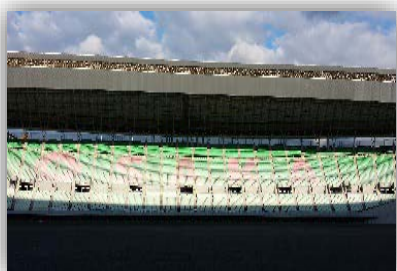
試合当日、応援席にもたくさんの人でいっぱいであった

IPC 公認 2015 ジャパンパラ

陸上競技大会

平成27年9月19日(土)~9月20日(日)

ヤンマースタジアム長居



好天に恵まれたスタジアム



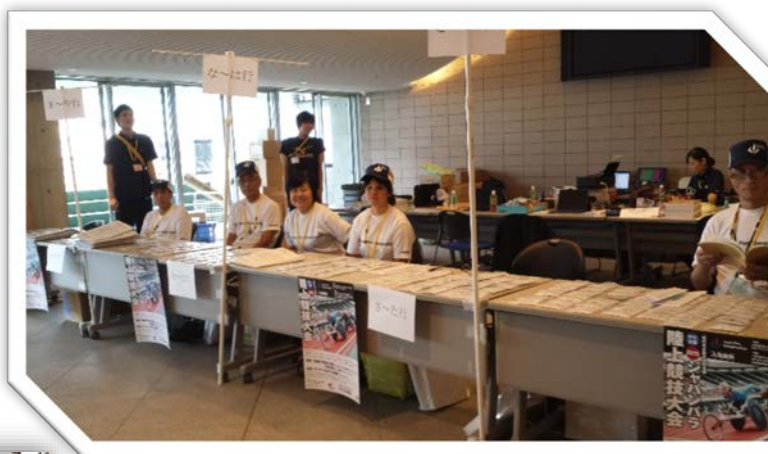
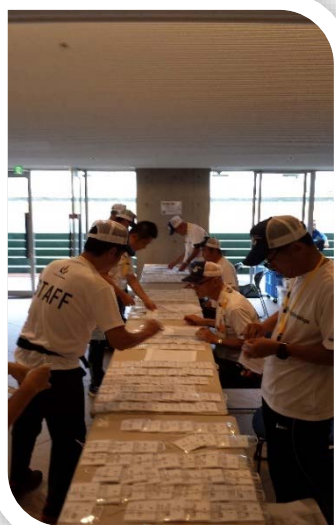
大阪を代表する大きなヤンマースタジアム長居（大阪市長居陸上競技場）で、ジャパンパラ陸上競技大会が開催され、天気も良好で汗もにじみ出た。

大会前日の準備は、各競技団体ごとに黙々と進められた。

協力団体の一つである障がい者スポーツ指導者協議会からは、3日間で40名以上のボランティアが集まった。

この陸上競技大会のボランティアを初めて経験する方や、キッズルームへ子どもを預け大会のボランティアに協力している方、また経験豊富な方など、ボランティアを通して会場ごとに障がい者スポーツ指導者同士の交流が持てたように思えた。

また IPC 公認大会もあって、出場選手の気迫を目の当たりに感じることもできた。



障がい者スポーツ指導者協議会のみなさん
選手の受付（五十音順に置かれたIDカード）

選手のIDカードの紐をまとめ、
取りやすくしている